

大会プログラム 2 日目の概要が決まりました。多数の研究発表応募ありがとうございました。  
当日はプロジェクト研究発表のあと、A、B2 つのグループに分かれて実施します。

◆ 6 月 3 日(土) 【研究発表】

8:40～	受付開始	九州大学 箱崎地区旧工学部 5 号館 5 階大講義室	
9:00～	会長挨拶		
9:10～ 9:45	PJ 発表①	大学における活用のための教育アーカイブズ保存・管理・公開システムに関する比較研究	
9:45～10:20	PJ 発表②	記録管理学体系化に関する研究(その1)	
10:20～10:40	休憩・移動	B グループは 7 階多目的演習室	
		A グループ	B グループ
10:40～11:10	研究発表①	記録管理・アーカイブズにおける「デジタル・フォレンジック」に関する一考察:国際比較に基づき	中国第二歴史档案館のデジタルデータマネジメント:全宗原則に基づく大規模デジタル化計画の考察
11:10～11:40	研究発表②	電子ファイルを廃棄・選別するための支援環境の構築について	「場所論」「筑豊特殊論」から考える筑豊炭田の資料保存にまつわる一考察
11:40～12:40	昼食休憩		
12:40～13:10	研究発表③	質問紙調査の記録分析による体育会学生の実態把握 -テキストマイニングの手法を用いて-	「国際的原則が導く、ケアリーヴァーにとっての平等で公平な記録へのアクセスとは-レコードとレコードキーピングに関するコンサルテーションペーパーへの提言から-
13:10～13:40	研究発表④	韓国における「記録管理学」の発展-1990 年代から現在まで-	保存状態からみた記録の保存管理方法に関する検討 -方城町史編纂資料の事例から-
13:40～13:50	休憩		
13:50～14:20	研究発表⑤	出張所アーカイブズの保存・利用～記録管理と地域のオリジナリティー	電子記録管理をどのように進めていくか-オーストラリア国立公文書館の取り組みを中心に-
14:20～14:50	研究発表⑥	熊本県における評価選別と「統一的な行政文書の作成、分類、保存及び保存期間満了時の措置の基準表」	組織における情報文化とレコードキーピングに関する基礎的考察
14:50～15:00	休憩・移動	B グループは 5 階大講義室へ移動	
15:00～15:30	総評		
15:30	閉会・解散		

<発表グループ詳細>

発表	代表発表者	研究発表テーマ
PJ①	戎 子卿	活用のための教育アーカイブズ保存・管理・公開システムに関する比較研究～国立系教育大学を例として～
PJ②	小川 千代子	記録管理学体系化に関する研究 ～2016年度の成果報告～
A①	古賀 崇	記録管理・アーカイブズにおける「デジタル・フォレンジック」に関する一考察:国際比較に基づき
A②	新原 俊樹	電子ファイルを廃棄・選別するための支援環境の構築について
A③	杉原 亨	質問紙調査の記録分析による体育会学生の実態把握 -テキストマイニングの手法を用いて-
A④	ウォン ナミ	韓国における「記録管理学」の発展—1990年代から現在まで—
A⑤	嶋田典人	出張所アーカイブズの保存・利用～記録管理と地域のオリジナリティー
A⑥	永村 美奈	熊本県における評価選別と「統一的な行政文書の作成、分類、保存及び保存期間満了時の措置の基準表」
B①	橋本 陽	中国第二歴史档案館のデジタルデータマネジメント:全宗原則に基づく大規模デジタル化計画の考察
B②	鳥飼かおる	「場所論」「筑豊特殊論」から考える筑豊炭田の資料保存にまつわる一考察
B③	阿久津 美紀	「国際的原則が導く、ケアリーヴァーにとっての平等で公平な記録へのアクセスとは—レコードとレコードキーピングに関するコンサルテーションペーパーへの提言から—」
B④	加藤 和歳	保存状態からみた記録の保存管理方法に関する検討 -方城町史編纂資料の事例から-
B⑤	大木 悠佑	電子記録管理をどのように進めていくか-オーストラリア国立公文書館の取組みを中心に-
B⑥	清原 和之	組織における情報文化とレコードキーピングに関する基礎的考察